

踏切安全通行カルテ

よみがな	たけはら						道路名		町道竹原本宿線				
踏切道名	竹原						(道路管理者名)		長泉町				
							鉄道路線名		東海道線				
所在地	長泉町竹原字西海道203-1						(鉄道事業者名)		東海旅客鉄道				
地図 (広域及び狭域)							写真 (現況及び対策後)						
	国土地理院電子国土Web												
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員 (m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし			
								(車両進入防護柵等)		-			
	踏切長 (m)		15.7	左道路	1.0	7.6	0.0	歩車道分離方法		なし			
				踏切道	0.0	8.0	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		-		
	横断本数 (本)		2	右道路	1.0	7.5	0.0		歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-		
	交差角 (度)		40	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離 (m)		迂回路 (自動車)	種類		距離 (m)	
					-		-			起点寄有り		220	
	道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離 (m)		BF化状況		通学路指定状況	有り		
		右道路	直線			-		-					
	緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間 (分)				通学路要対策踏切	-			
					-								
		自動車 [※] ボトルネック踏切		○	踏切自動車交通遮断量 (台・時)				事故多発踏切	-			
52,025													
歩行者 [※] ボトルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和						
			-				-						
歩道狭隘踏切		-	前後道路の 車道幅員 (m)		前後歩道との幅員差 (m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)					
					起点寄 (左)	終点寄 (左)							
			起点寄 (右)	終点寄 (右)									
			左道路	-	-	-							
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等				
	踏切事故		0	0	-				-				
	道路交通事故		0	0	-								
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-		
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-		
										対策状況 (完了年)	-		
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策					H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}							
	-			除却 年度	-	-				完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	都市計画道路沼津三島線の開通により、利用者が分散すると予測される。 道路管理者として、上記都市計画道路の開通により安全面が確保されるので、開通まで経過観察をする。												
備考 (協議状況等)	都市計画道路の開通に合わせた動きをとる。												

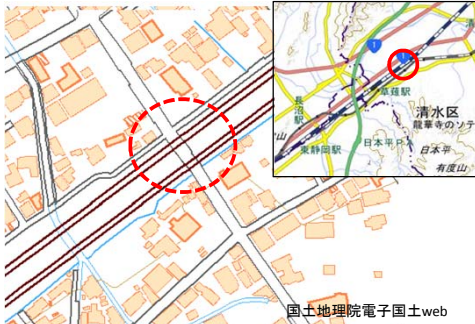
※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	いわぶち					道路名		市道 富士見橋線			
踏切道名	岩 瀬					(道路管理者名)		富士市			
						鉄道路線名		東海道線			
所在地	富士市中之郷字塚町下856－2					(鉄道事業者名)		東海旅客鉄道			
地図 (広域及び狭域)	詳細  広域 					写真 (現況及び対策後)		(現況) 東から撮影  (現況) 西から撮影 			
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員 (m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし	
								(車両進入防護柵等)		－	
	踏切長 (m)		17.5	左道路	2.2	5.7	0.0	歩車道分離方法		なし	
				踏切道	0.0	4.6	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数 (本)		3	右道路	2.2	5.4	2.2		歩道+車道2車までの 拡幅の場合	－	
	交差角 (度)		75	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離 (m)		迂回路 (自動車)		種類	距離 (m)
					駅構内自由通路	190				両方共なし	－
	道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離 (m)	BF化状況		通学路指定状況		なし
		右道路	直線	－	－	－					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		－	ピーク時遮断時間 (分)				通学路要対策踏切		－	
				－							
	自動車 [※] 1台 [※] 踏切		－	踏切自動車交通遮断量 (台・時)				事故多発踏切		－	
				－							
	歩行者 [※] 1人 [※] 踏切		－	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和			
				－				－			
	歩道狭隘踏切		○	前後道路の 車道幅員 (m)		前後歩道との幅員差 (m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)	
左道路	5.7	2.2	0.0								
				右道路	5.4	2.2	2.2				
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等			
	踏切事故		0	0	－			－			
	道路交通事故		0	0	－						
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	－
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ－ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	－
										対策状況 (完了年)	－
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策					H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}					
	－			除却 年度	－	－			完了 年度	－	
今後の対策方針 対策推進上の課題	現在、踏切内での車両のすれ違い防止のための注意喚起の看板があるが、注意喚起の強化や、歩行者の迂回路への誘導の強化策を検討していく。地元の意見等を踏まえながら、状況を注視して行く。										
備考 (協議状況等)	これまで実施した対策として、踏切内での車両のすれ違い防止のため、踏切を東から西進する車両に対し「注意、対向車優先」の看板を設置し、対向車がある場合は踏切手前での待機を促している。また、踏切西側には道路両側に幅員約2.0mの歩道を設置し、踏切を横断する歩行者の待機場所を確保している。また、通学路設定に際し、当該踏切は横断せずに、約200m北に存在する地下道を迂回するルートを設定し、通学児童の安全確保を図っている。										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	ながさきみち						市道 一里山長崎1号線					
踏切道名	長崎道						(道路管理者名)		静岡市			
							鉄道路線名		東海道線			
所在地	静岡市清水区七ツ新屋一丁目55						(鉄道事業者名)		東海旅客鉄道			
地図 (広域及び狭域)							写真 (現況及び対策後)		(現況) 			
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員 (m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし		
								(車両進入防護柵等)		-		
	踏切長 (m)		9.7	左道路	0.0	6.7	4.5	歩車道分離方法		なし		
				踏切道	0.0	7.2	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		-	
	横断本数 (本)		2	右道路	1.0	7.5	0.0		歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-	
	交差角 (度)		90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離 (m)		迂回路 (自動車)		種類	距離 (m)
					-		-		-		両方共なし	-
	道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離 (m)	BF化状況		通学路指定状況		有り	
		右道路	直線		-	-	-					
	緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間 (分)				通学路要対策踏切		○	
-												
自動車ボトルネック踏切		○	踏切自動車交通遮断量 (台・時)				事故多発踏切		-			
			51,906									
歩行者ボトルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
			-				-					
歩道狭隘踏切		-	前後道路の 車道幅員 (m)		前後歩道との幅員差 (m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)			
					起点寄 (左)	終点寄 (左)						
			左道路	-	-	-	-	-				
			右道路	-	-	-						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等			
	踏切事故		0	0	-				通学路として指定されており、児童や地域住民の通行が多く、歩道拡幅の要望がある。			
	道路交通事故		0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ－ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	S46	
	無	-	-		○	光式	○	-		-	対策状況 (完了年)	S62
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策						H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※)					
	-			除却 年度	-	構造改良 (調整中)			完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	自動車ボトルネック踏切であるが、歩道がなく、歩行者と自動車とが接触する危険性がある。現在、都市計画道路事業「3・3・51号 一里山長崎線」として、長崎道踏切を含めた355m区間について、拡幅整備実施中であり、踏切区間については業認可期間である平成31年度までに歩道拡幅着手を予定している。 ボトルネック対策としては、周辺道路ネットワークやこの拡幅と合わせて踏切の高度化等を関係機関と検討する。											
備考 (協議状況等)	現在、道路管理者と鉄道事業者で拡幅に向けた協議を実施中である。											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	なかよしだ						道路名		市道 中吉田国道線				
踏切道名	中吉田						(道路管理者名)		静岡市				
							鉄道路線名		東海道線				
所在地	静岡市駿河区中吉田207-7						(鉄道事業者名)		東海旅客鉄道				
地図 (広域及び狭域)							写真 (現況及び対策後)		(現況) 				
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員 (m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし			
								(車両進入防護柵等)		-			
	踏切長 (m)		9.1	左道路	3.5	11.0	3.5	歩車道分離方法		コンクリートブロック			
				踏切道	3.5	11.0	3.5	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		-		
	横断本数 (本)		2	右道路	3.5	11.0	3.5		歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-		
	交差角 (度)		90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離 (m)		迂回路 (自動車)	種類		距離 (m)	
					-		-			両方共なし		-	
	道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離 (m)		BF化状況		通学路指定状況	なし		
		右道路	直線		-		-						
	緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間 (分)				通学路要対策踏切	-			
-													
自動車ボトルネック踏切		○	踏切自動車交通遮断量 (台・時)				事故多発踏切	-					
			74, 151										
歩行者ボトルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和						
			-				-						
歩道狭隘踏切		-	前後道路の 車道幅員 (m)		前後歩道との幅員差 (m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)					
					起点寄 (左)	終点寄 (左)							
					起点寄 (右)	終点寄 (右)							
					左道路	-					-	-	
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等				
	踏切事故		0	0	-				-				
	道路交通事故		0	0	-								
	踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	踏切警報時間制御装置	
設置の 必要性		有無	設置 年度	障害物 検知装置		オーバ－ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置	指定年		H8		
											○	○	H12
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策						H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-			除却 年度	-	踏切道の交通軽減を図るネットワーク対策 (調 整中)				完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	当該踏切道は、既に都市計画道路として整備されており、歩道が両側に設置されている。しかし、交通遮断量が多いため、自動車ボトルネック踏切となっており、今後、道路管理者において、周辺の都市計画道路を整備することにより、南北軸の交通量を分散させ、自動車交通遮断量を減少させる。												
備考 (協議状況等)													

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	とちやま					道路名		市道谷口道線				
踏切道名	栃山					(道路管理者名)		島田市				
						鉄道路線名		東海道線				
所在地	島田市道悦一丁目667-6					(鉄道事業者名)		東海旅客鉄道				
地図 (広域及び狭域)						写真 (現況及び対策後)						
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員 (m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし		
								(車両進入防護柵等)		-		
	踏切長 (m)		10.1	左道路	0.8	5.8	0.7	歩車道分離方法		なし		
				踏切道	0.0	7.0	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		-	
	横断本数 (本)		2	右道路	0.8	5.8	0.6		歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-	
	交差角 (度)		85	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離 (m)		迂回路 (自動車)		種類	距離 (m)
			-		-				両方共なし		-	
	道路 線形		左道路		直線	直近のBF化 迂回路		距離 (m)	BF化状況	通学路指定状況		有り
		右道路	直線	-		-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間 (分)				通学路要対策踏切		-		
				-								
	自動車ボトルネック踏切		○	踏切自動車交通遮断量 (台・時)				事故多発踏切		-		
				50,959								
	歩行者ボトルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
				-				-				
歩道狭隘踏切		-	前後道路の 車道幅員 (m)		前後歩道との幅員差 (m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)			
			左道路	-	-	起点寄 (左)	終点寄 (左)					
			右道路	-	-	起点寄 (右)	終点寄 (右)					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等			
	踏切事故		0	0	-				本路線は、交通拠点を結ぶ主要路線であり、年々交通 量が増加している。周辺には六合駅や幼稚園・小学 校・中学校があり、自転車や歩行者の通行も多いた め、地元自治会を始め商工会議所等からも周辺道路を 含めた拡幅要望がある。			
	道路交通事故		0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ－ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-	
	無	-	-		○	光式	○	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策					H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※)						
	-			除却 年度	-	構造改良 (調整中)			完了 年度	未定		
今後の対策方針 対策推進上の課題	抜本対策である踏切の立体交差化は、周辺の交通形態から非常に困難な状況であるが、増加する交通量への対応と自転車および歩行者の安全対策として、当該踏切を含む市道谷口道線の歩道設置等の改良事業を平成28年度から道路管理者にて実施する予定。 ボトルネック対策としては、周辺道路ネットワークやこの改良と合わせて踏切の高度化等を関係機関と検討する。											
備考 (協議状況等)	平成28年度は市道谷口道線改良事業の道路概略設計を実施し、平成29年度から踏切の拡幅について鉄道事業者との協議を開始予定。											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	かわさきかいどう						道路名		県道島田吉田線		
踏切道名	川崎街道						(道路管理者名)		静岡県		
							鉄道路線名		東海道線		
所在地	島田市横井道下6879－6						(鉄道事業者名)		東海旅客鉄道		
地図 (広域及び狭域)							写真 (現況及び対策後)		(対策前)		
											
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員 (m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし	
								(車両進入防護柵等)		－	
	踏切長 (m)		12.9	左道路	0.0	7.0	3.4	歩車道分離方法		なし	
				踏切道	0.0	7.8	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		－
	横断本数 (本)		2	右道路	0.0	7.5	0.0		歩道+車道2車までの 拡幅の場合		－
	交差角 (度)		46	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離 (m)		迂回路 (自動車)	種類		距離 (m)
					－	－			両方共なし		－
	道路 線形	左道路	直線			直近のBF化 迂回路	距離 (m)	BF化状況	通学路指定状況	なし	
		右道路	直線			－	－	－			
	緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		－	ピーク時遮断時間 (分)				通学路要対策踏切	－	
			－								
自動車 [※] ボトルネック踏切		○	踏切自動車交通遮断量 (台・時)				事故多発踏切	－			
			51,187								
歩行者 [※] ボトルネック踏切		－	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
			－				－				
歩道狭隘踏切		－	前後道路の 車道幅員 (m)		前後歩道との幅員差 (m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)			
					起点寄 (左)	終点寄 (左)					
					起点寄 (右)	終点寄 (右)					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等			
	踏切事故		0	0	－			－			
	道路交通事故		0	0	－						
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ－ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	S37
	無	－	－		○	光式	○	－		－	対策状況 (完了年)
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策						H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}				
	－			除却 年度	－	踏切道の交通量軽減を図るネットワーク対策 (対策実施)			完了 年度	H19	
今後の対策方針 対策推進上の課題	当踏切の西側に位置する市道横井中央線でＪＲアンダー部の拡幅工事が平成19年度に完了している。これにより、県道島田吉田線の交通分散が図られている。										
備考 (協議状況等)	市道横井中央線で実施されたＪＲアンダー部の拡幅工事に伴って、県道島田吉田線の交通分散が図られたことから経過を観察しており、これまでＪＲとの協議は実施していない。										

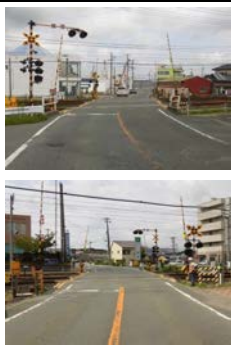
※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	わしづ				道路名		市道横須賀橋郷北線					
踏切道名	鷺津				(道路管理者名)		湖西市					
					鉄道路線名		東海道線					
所在地	湖西市鷺津字横須賀2492-9				(鉄道事業者名)		東海旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)							
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員 (m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)		大型 (自動車、特殊自動車) 通行禁止		
	踏切長 (m)		13.6	左道路	2.0	5.5	0.5	歩車道分離方法		-		
	横断本数 (本)		3	右道路	1.6	5.5	0.5	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		-	
	交差角 (度)		90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離 (m)			迂回路 (自動車)	種類		距離 (m)
	道路 線形	左道路	直線		-	-		通学路指定状況		両方共なし		-
		右道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離 (m)	BF化状況		有り			
	緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間 (分)				通学路要対策踏切		○	
自動車ボトルネック踏切		-	踏切自動車交通遮断量 (台・時)				事故多発踏切		-			
歩行者ボトルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
歩道狭隘踏切		○	前後道路の 車道幅員 (m)		前後歩道との幅員差 (m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)			
			左道路	5.5	2.0	0.5	2,232		1,088			
			右道路	5.5	1.6	0.5						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等			
	踏切事故		0	0	-				通学路合同点検において、対策必要箇所であり、地元 自治会等からも歩道拡幅に対する強い要望あり。			
	道路交通事故		0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバールン 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	S45	
	無	-	-		光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-	
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※)							
	-			除却 年度	-	構造改良 (調整中)			完了 年度	未定		
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切歩道拡幅を今後実施していく。											
備考 (協議状況等)	現在道路管理者と鉄道事業者で拡幅に向けた協議を実施中である。											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	にけんや					道路名		市道新所原笠子線			
踏切道名	二軒屋					(道路管理者名)		湖西市			
						鉄道路線名		東海道線			
所在地	湖西市駅南2丁目13-273					(鉄道事業者名)		東海旅客鉄道			
地図 (広域及び狭域)						写真 (現況及び対策後)					
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員 (m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし	
	踏切長 (m)		17.5	左道路	1.8	7.3	0.9	(車両進入防護柵等)		-	
	横断本数 (本)		3	踏切道	0.0	7.2	0.0	歩車道分離方法		なし	
	交差角 (度)		68	右道路	1.3	6.1	1.3	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
							歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-		
	道路 線形	左道路	曲線	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離 (m)		迂回路 (自動車)	種類	距離 (m)	
					-	-			両方共なし	-	
		右道路	直線			直近のBF化 迂回路	距離 (m)	BF化状況	通学路指定状況	有り	
				-	-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間 (分)				通学路要対策踏切		-	
	自動車ボトルネック踏切		-	踏切自動車交通遮断量 (台・時)				事故多発踏切		-	
	歩行者ボトルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和			
				-				-			
	歩道狭隘踏切		○	前後道路の 車道幅員 (m)		前後歩道との幅員差 (m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)		
				左道路	7.3	1.8	0.9				
				右道路	6.1	1.3	1.3	4,318	1,011		
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等		
	踏切事故		0	0	-				-		
	道路交通事故		0	0	-						
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ－ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		光式	○	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策					H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※)					
	-			除却 年度	-	踏切道の交通量軽減を図るネットワーク対策 (事業中)			完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	当該踏切は歩道狭隘踏切のため、交通量軽減を図るネットワーク対策として、本踏切東側の跨線橋を含む幹線道路が整備された。 また、当該踏切に隣接する新所原駅周辺整備事業に伴う南北自由通路の整備により、当該踏切を通行する歩行者の 軽減対策を図る。										
備考 (協議状況等)	・ 南上の原梅田線整備事業に伴う南上の原跨線橋の整備 (H23.3供用開始) ・ 新所原駅周辺整備事業 (H24.8～H31.3) ※ 南北自由通路 (H28年度中に供用予定)										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	ひよしちょう						県道 静岡環状線				
踏切道名	日吉町						(道路管理者名)		静岡市		
							鉄道路線名		静岡清水線		
所在地	静岡市葵区鷹匠二丁目22-3						(鉄道事業者名)		静岡鉄道		
地図 (広域及び狭域)							写真 (現況及び対策後)		(現 況) 		
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員 (m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし	
								(車両進入防護柵等)		-	
	踏切長 (m)		7.9	左道路	4.0	12.0	4.0	歩車道分離方法		コンクリートブロック	
				踏切道	4.1	17.5	4.1	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		-
				右道路	4.9	15.0	4.9		歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-
	交差角 (度)		90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離 (m)		迂回路 (自動車)	種類	距離 (m)
					-		-			両方共なし	
	道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離 (m)		BF化状況		通学路指定状況	あり
右道路		直線	-			-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間 (分)				通学路要対策踏切		-	
				-							
	自動車ボトルネック踏切		○	踏切自動車交通遮断量 (台・時)				事故多発踏切		-	
				94,505							
	歩行者ボトルネック踏切		○	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和			
				29,240				123,744			
歩道狭隘踏切		-	前後道路の 車道幅員 (m)		前後歩道との幅員差 (m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)		
					起点寄 (左)	終点寄 (左)					
					起点寄 (右)	終点寄 (右)					
			左道路	-	-	-	-		-		
			右道路	-	-	-	-		-		
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数		事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等			
	踏切事故		0	0		-		-			
	道路交通事故		0	0		-					
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ・ハンク 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	S57
	-	○	-		○	光式	-	-		-	対策状況 (完了年)
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策					H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}					
	-			除却 年度	-			完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	自動車ボトルネック踏切及び歩行者ボトルネック踏切であるが、歩道が両側に整備されており、過去5年で踏切道内での事故は発生していない。しかし、交通遮断量が多く、静岡県道路交通渋滞対策推進協議会において、平成24年度に主要渋滞個所として選定されている。今後は、協議会の中で渋滞解消に向けた取り組みを検討する予定である。										
備考 (協議状況等)											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	ながめだいい7						道路名		主要地方道 山脇大谷線		
踏切道名	長沼第7						(道路管理者名)		静岡市		
							鉄道路線名		静岡清水線		
所在地	静岡市葵区長沼三丁目5-1						(鉄道事業者名)		静岡鉄道		
地図 (広域及び狭域)							写真 (現況及び対策後)		(現況) 		
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員 (m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)		交通規制なし -	
	踏切長 (m)		8.7	左道路	2.0	15.1	2.0	歩車道分離方法		コンクリートブロック	
	横断本数 (本)		2	右道路	2.0	15.1	2.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	交差角 (度)		81	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離 (m)			迂回路 (自動車)	種類	距離 (m)
	道路 線形	左道路	直線		-	-		通学路指定状況		両方共なし	-
		右道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離 (m)	BF化状況		なし		
	緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間 (分)				通学路要対策踏切		-
		自動車ボトルネック踏切		○	踏切自動車交通遮断量 (台・時)				事故多発踏切		-
		歩行者ボトルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和		
		歩道狭隘踏切		-	前後道路の 車道幅員 (m)		前後歩道との幅員差 (m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)	
		左道路	-	-	起点寄 (左)	終点寄 (左)					
		右道路	-	-	起点寄 (右)	終点寄 (右)					
事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
踏切内事故 発生状況 (過去5年)		0	0	-			-				
道路交通事故		0	0	-			-				
踏切保安設備 設置状況		賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別
	設置の 必要性	有無	設置 年度	障害物 検知装置		オーバーハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置	指定年		S52
	-	○	-	○		光式	-	-	-		対策状況 (完了年)
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策					H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}					
	-			除却 年度	-	-				完了 年度	-
今後の対策方針 対策推進上の課題	自動車ボトルネック踏切であるが、歩道が両側に整備されている。しかし、交通遮断量が多く、静岡県道路交通渋滞対策推進協議会において、平成24年度に主要渋滞箇所として選定されており、今後は協議会の中で渋滞解消に向けた取り組みを検討する予定である。										
備考 (協議状況等)											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。